



本日のテーマ「 ライトノベル 」

実施日：2018年7月22日

- 1 「少年Nの長い長い旅01」 【YN イシ】
「少年Nのいない世界01」 【YSN イ】

石川宏千花／著 岩本ゼゴロ／画 2016年 講談社
とある者降伝説がきっかけで、異世界に飛ばされた小学6年生の男女7人。飛ばされた先は、言葉も常識も通じない、全く別の宇宙。バラバラになった7人は、みんな同じ世界にいろと信じて、他の仲間達と探検し合っていく。「少年Nの長い～」は、少年Nこと五島野依の視点で、「少年Nのいない～」は「少年Nの長い～」から5年後の世界、少年N以外のメンバーの視点で描かれています。



- 2 「キノの旅 the Beautiful World」
時雨沢恵一／著 2000年 メディアワークス 【YSN シ】

旅人のキノが相棒のエルメス(話すことのできる自動二輪車)といっしょに、いろんな場所へ行き、様々な人と会います。その土地それぞれの考え、風習があり、いろいろと考えさせられることがあります。
1話外20~30pと短めなので気軽に読める点もオススメです。
1話目のタイトルは「人の痛みがわかる国」です。どのような国を想像しますか?



- 3 「クララ白書 1, 2」
「アグネス白書 1, 2」
氷室冴子／著 1996年 集英社 【N ヒ】

主人公の桂木しほが、通称「しへの」は、父が転勤となり、中等科3年生から、「クララ舎」という寮宿舎に入ります。(この高等科が「アグネス舎」。このときこのタイトルです)
中等科3年生は、いろいろな特権があり、ポイントと3年が通れば、王子の子、不公平ということ、女子課題が出されます。それをクリアしたら認められるので。
「食料庫と料理室にしがび込んで 45人分のドーナツを揚げること」まで やりとげることができるといふのでしょか?



- 4 「花を追え 仕立屋・琥珀と着物の迷宮」
春坂咲月／著 2016年 早川書房 【YSN ハ】
主人公は、篠宮教室に通う八重という女子高生。イケメン仕立屋 琥珀と出会い、着物に関する謎を解いていきます。着物の柄や模様には色々な意味があるそうで、勉強にもなります！ 第6回アサヒ・クリスタル賞優秀賞を受賞している本作。最後の選評も含めて楽しんでみて下さい。



- 5 「天盆」 王城夕紀／著 2017年 中央公論新社 【YSN オ】
この国では天盆(将棋のようなゲーム)で優秀な成績をおとした者がこの国の政を司ることが出来ます。しかし天盆陣ではもう何十年も平民が勝ち残ったことはないのです。それはいったいなぜ?
貧しい食堂に暮らす13人きょうだいの末子、10人の兄は覇者と呼ばれるのか、ハラハラする展開です。
1話により、終章の幕引きがみごと。読みごたえのある一冊です。



- 6 「猫曰く、エスパー課長は役に立たない。」
山口幸三郎／著 2017年 KADOKAWA 【YSN ヤ】
49才のうお毛に悩む×9ボのおじさんが、ラノベの主人公って、どう思う? と10代の子にきいてみたところ、なんと「アリ」なんだそうです。イケメンは夢の世界だけど「おじさん」はリアルで良い! とのこと。でも、ただのおじさんでは主役は務まりません。このお話の主人公 干川北也氏には、「傷」に触れると、なぜその傷ができたのか、その経緯がわかるという超能力があります。この能力のせいで、彼は毎日大変なめにあうわけ...

